

四條畷市産業振興ビジョン等策定のためのアンケート調査

【工業編】

日頃から四條畷市の工業施策にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本市では、平成23年に「四條畷市産業振興ビジョン」を策定し、市内の産業（商業・工業・農業）を総合的に捉えた産学公の三位一体の施策をすすめてまいりました。

このたび、昨今の地域を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、現計画である「四條畷市産業振興ビジョン」を改定し、時代に対応した特色のある産業振興を図るため、後継となる「四條畷市産業振興ビジョン」を策定したいと考えております。

本調査は、市の現状と課題を把握し、産業振興ビジョン策定のための基礎資料とすることを目的として実施するものです。

本調査にあたりましては、市内で工業を営んでいる方から無作為に抽出させていただきました。調査結果は統計的に処理し、このビジョン策定以外の目的には一切使用いたしません。

ご多忙のところ大変お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和8年10月

四條畷市 市民生活部 産業振興課

アンケート記入に際しての注意事項

1. このアンケートには、貴事業所の代表者または、事業所のことがわかる方がご記入ください。
2. 回答は、直接この用紙にご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。設問によっては、「○は1つ」「○は3つ」等答えられる数に制限がありますので、ご注意ください。
4. 「その他（ ）」を選択された場合は、（ ）の中に具体的にご記入ください。

(1) ご回答方法

①同封の返信用封筒（切手不要）によりご返送ください。

②WEB でのご回答

以下 URL または二次元コードよりアクセスしてご回答ください。

URL: <https://questant.jp/q/79Z8HP5S>



(2) ご回答期限

10月30日（金）までにご回答をお願いいたします。

■本調査に関するお問合せ先

○調査の趣旨について

四條畷市 市民生活部 産業振興課
TEL:072-877-2121（代表）
内線 544/341
0743-71-0330（代表）

○アンケートの内容・回答方法等について（調査委託先）

株式会社地域計画建築研究所（略称；アルパック）
〒600-8006 京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99
番地 四条 SET ビル2F
担当：酒井（サカイ）、山部（ヤマベ）
TEL:075-221-5132（平日9時～17時）
MAIL:sakai-ku@arpak.co.jp

I. 貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所の主な業種についてお聞きます。(○は1つ)

1. 食料品製造業	2. 飲料・たばこ・飼料製造業
3. 繊維工業	4. 木材・木製品製造業(家具を除く)
5. 家具・装備品製造業	6. パルプ・紙・紙加工品製造業
7. 印刷・同関連業	8. 化学工業
9. 石油製品・石炭製品製造業	10. プラスチック製品製造業
11. ゴム製品製造業	12. なめし革・同製品・毛皮製造業
13. 窯業・土石製品製造業	14. 鉄鋼業
15. 非鉄金属製造業	16. 金属製品製造業
17. はん用機械器具製造業	18. 生産用機械器具製造業
19. 業務用機械器具製造業	20. 電子部品・デバイス・電子回路製造業
21. 電気機械器具製造業	22. 情報通信機械器具製造業
23. 輸送用機械器具製造業	24. その他の製造業

問2 貴事業所の概要についてお聞きます。

事業所名※任意			
所在地	四條畷市_____ (地域名)		
経営形態	1. 個人事業主 2. 法人	従業員数(パート・アルバイト含む)	人
経営者の年齢は	1. 30歳未満 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上		
経営者の性別は	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない		
従業員の平均年齢は	1. 30歳未満 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳以上 6. わからない		
従業員の居住地の割合	四條畷市内在住()% 市外在住()%		
事業所の本店・支店別等	1. 単独事業所 2. 本社(本店) 3. 支社(支店)		
事業所の形態	1. 工場・作業所 2. 開発・研究所のみ 3. 事務所のみ 4. その他()		
土地の敷地面積	1. 20㎡未満 4. 100～250㎡未満	2. 20～50㎡未満 5. 250～500㎡未満	3. 50～100㎡未満 6. 500㎡以上
建物の延床面積	1. 20㎡未満 4. 100～250㎡未満	2. 20～50㎡未満 5. 250～500㎡未満	3. 50～100㎡未満 6. 500㎡以上
事業所の所有状況	1. 土地・建物ともに自社・自店所有(代表者、役員所有含む) 2. 土地は借地、建物のみ自社・自店所有(代表者、役員所有含む) 3. 土地・建物ともに賃貸		
業態について	1. 自社製品を持つ製造販売メーカー 3. 一次受託事業者 5. その他()		
	2. 自社製品を持ち受託も行う事業者 4. 二次以下の受託事業者		

Ⅱ.貴事業所の事業についてお伺いします。

問3 貴事業所において現在と3年前を比較した場合、どのように感じられますか。それぞれの項目毎にあてはまるもの1つに○をつけてください。

出荷額	1.増加 2.横ばい 3.減少	経費	1.増加 2.横ばい 3.減少
顧客・取引企業数	1.増加 2.横ばい 3.減少	従業員数	1.増加 2.横ばい 3.減少
顧客・取引企業あたりの事業費(単価)	1.増加 2.横ばい 3.減少		

問4 貴事業所の受注(販売)のうち、市内における受注はどのくらいの割合を占めますか。(○は1つ)

1. 10%未満	2. 10~30%未満
3. 30~50%未満	4. 50~70%未満
5. 70~90%未満	6. 90%以上

問5 貴事業所の最大受注(販売)先は、どこに立地していますか。(○は1つ)

1. 四條畷市	2. 大阪市
3. その他の大阪府内 → 問6へ	4. 大阪府外の国内 → 問7へ
5. 海外	

問6 問5で「3」と答えた方にお伺いします。最大受注(販売)先は大阪府内のどこに立地していますか。

--

問7 問5で「4」と答えた方にお伺いします。最大受注(販売)先は大阪府外のどこに立地していますか。

--

問8 貴事業所において、最近新事業展開や経営革新等を行いましたか。行った場合は、具体的にお答えください。

1. 行った	2. 行っていない
具体的に	

Ⅲ.産学連携についてお伺いします。

問9 貴事業所では、現在大学や研究機関と連携していますか。(○は1つ)

1. 企業として連携	2. 代表者や社員の個人的なつながりがある
3. 連携していない → 問12へ	

問10 問9で「1」「2」と答えた方にお伺いします。連携先はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 大学 3. その他の公的な研究機関	2. 公設試験研究機関 4. 民間研究機関
-------------------------	--------------------------

問11 問9で「1」「2」と答えた方にお伺いします。連携によって、どのような成果がありますか。
(主なもの3つ以内に○)

1. 新製品・技術の開発に効果 3. 技術情報の入手 5. 経営情報の入手 7. 人材の確保 9. その他()	2. 開発ノウハウの習得 4. 販売情報の入手 6. 社内人材の育成 8. 社会的信頼の獲得 10. 特になし
--	---

問12 問9で「3」と答えた方にお伺いします。連携していないのはなぜですか。(○は1つ)

1. ニーズにあった連携先がわからないから 3. 連携を希望する相手に断られたから 5. その他()	2. 連携先と知り合う機会がないから 4. 連携の必要性を感じないから
---	--

IV. 同業種・異業種交流についてお伺いします。

問13 貴事業所では、現在同業種または異業種との間でグループを形成(加入)していますか。(○は1つ)

1. 形成(加入)している	2. 形成(加入)していない → 問17へ
---------------	-----------------------

問14 問13で「1. 形成(加入)している」と答えた方にお伺いします。グループの主なメンバーの地域的範囲はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 四條畷市内 3. 東大阪地域 5. 近畿圏	2. 北河内地域 4. 大阪府 6. 全国
--------------------------------	-----------------------------

問15 問13で「1. 形成(加入)している」と答えた方にお伺いします。グループでは、どのような活動を行っていますか。(主なもの3つ以内に○)

1. 共同開発 3. 共同仕入 5. 仕事の融通 7. その他()	2. 共同受注・販売促進活動 4. 情報交換 6. 親睦のみ 8. 特に何もしていない
---	--

問16 問13で「1. 形成(加入)している」と答えた方にお伺いします。グループ活動によって、どのような成果がありましたか。(主なもの3つ以内に○)

1. 売上げが増加した 3. ノウハウの蓄積につながった 5. 社員の育成につながった 7. 情報の入手が容易になった 9. 今のところ成果がない	2. 製品の開発に成功した 4. 技術レベルが向上した 6. 人的ネットワークが広がった 8. その他()
---	---

問17 問13で「2. 形成（加入）していない」と答えた方にお伺いします。グループを形成（加入）しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. きっかけがないから 3. メリットを感じないから	2. 時間的余裕がないから 4. その他（ ）
--------------------------------	----------------------------

V. 貴事業所の立地についてお伺いします。

問18 貴事業所の四條畷市での開設時期はいつですか。（○は1つ）

1. 戦前～昭和20年代	2. 昭和30年代	3. 昭和40年代	4. 昭和50年代
5. 昭和60年代～平成6年	6. 平成7～11年	7. 平成12～22年	8. 平成23～令和2年
9. 令和3年以降			

問19 貴事業所が四條畷市に立地しているメリットとデメリットをお答えください。（主なもの3つ以内に○）

●メリット

1. 大都市へのアクセスが良い 3. 地域住民との距離が近い 5. 操業環境が良い 7. 従業員の通勤がしやすい 9. 人材確保がしやすい 11. 特にメリットはない	2. 家賃・地代等の事業コストが比較的低い 4. 従業員にとって住みやすい環境 6. 市や支援機関（商工会・銀行等）の支援の充実 8. 取引先企業との距離が近い 10. その他（ ）
--	---

●デメリット

1. 大都市へのアクセスが良くない 3. 地域住民との距離が遠い 5. 事業用地面積の確保が難しい 7. 企業間の交流やネットワークが乏しい 9. 人材確保が難しい 11. 特にデメリットはない	2. 家賃・地代等の事業コストが比較的高い 4. 鉄道・道路等の交通アクセスが不便 6. 市や支援機関（商工会・銀行等）の支援が少ない 8. 周辺住民や住宅との調和（住工混在） 10. その他（ ）
--	---

VI. デジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）についてお伺いします。

問20 貴事業所の DX（デジタル化・IT 活用）への取組状況をお答えください。（○は1つ）

1. 積極的に取り組んでいる 3. 必要性は感じており検討中 5. 取り組んでおらず、関心もない → 問23へ	2. 一部取り組んでいる 4. 取り組んでいないが関心はある
---	-----------------------------------

問21 問20で「1」「2」「3」「4」と答えた方にお伺いします。DXを進める上での課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 導入コストが高い 3. 社内に IT 人材・知識を持つ人材がいない 5. 効果や投資対効果が見えにくい 7. その他()	2. 何から始めればよいかわからない 4. 従業員の理解・協力が得られにくい 6. 取引先・顧客側の対応 (IT 化) が進んでいない 8. 特に課題はない
---	---

問22 問20で「1」「2」「3」「4」と答えた方にお伺いします。DX 推進にあたり、市・支援機関に望む支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 補助金・助成金の充実 3. 導入事例紹介・セミナーの開催 5. その他()	2. 専門家派遣・個別相談窓口の設置 4. IT 人材・ベンダーとのマッチング支援
---	--

VII.事業承継についてお伺いします。

問23 事業承継に対する考え方についてお答えください。(○は1つ)

1. 現経営者の親族に承継 3. 第三者へ承継 5. 廃業する(自分一代のつもり) → 問 26 へ	2. 親族以外の従業員に承継 4. 承継は希望しているが、決まっていない
--	---

問24 問23で「1」「2」「3」「4」と答えた方にお伺いします。事業承継に向けた課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 後継者候補本人の意思確認・育成 3. 税務・法務手続きに関する知識不足 5. 従業員・取引先との関係維持 7. その他()	2. 経営状況の見える化(財務・資産・負債の整理) 4. 誰に相談すればよいかわからない 6. 設備・借入金・保証等の引継ぎ 8. 特に課題はない
--	--

問25 問23で「1」「2」「3」「4」と答えた方にお伺いします。事業承継に関して、市・支援機関に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業承継・引継ぎ支援センターの周知・利用促進 3. M&A・第三者承継のマッチング支援 5. 補助金・融資制度の充実	2. 専門家(税理士・弁護士・中小企業診断士)派遣 4. 後継者向け経営研修・経営者交流の場 6. その他()
---	--

VIII.人材の利活用(外国人人材)についてお伺いします。

問26 貴事業所の外国人人材の活用状況をお答えください。(○は1つ)

1. すでに雇用している 3. 関心はあるが進め方がわからない	2. 今後検討したい 4. 雇用予定はない → 問28へ
------------------------------------	---------------------------------

問27 問26で「1」「2」「3」と答えた方にお伺いします。外国人人材を活用する上での課題は何ですか。
(主なもの3つ以内に○)

1. 日本語でのコミュニケーション 3. 住居等、生活面のサポート 5. 採用ルート・出会う機会が少ない 7. その他()	2. 在留資格・ビザ手続きの複雑さ 4. 文化・生活の違いへの対応 6. 受け入れ態勢の整備 8. 特に課題はない
---	--

IX. 貴事業所の今後の方針についてお伺いします。

問28 貴事業所が現在抱えている経営上の問題は何ですか。(主なもの3つ以内に○)

1. 受注数量が少ない 3. 資金調達難 5. 敷地が狭い 7. 人材確保・育成 9. 情報化への対応 11. その他()	2. 受注単価が低い 4. 設備の老朽化 6. 従業員の高齢化 8. 後継者難 10. 新商品・技術開発力の不足 12. 特になし
---	--

問29 今後3年間程度の経営方針について、あてはまるものをお答えください。(主なもの3つ以内に○)

1. 現在の事業を拡大 3. 同業種・異業種交流に力を入れる 5. 現状維持 7. 製造業以外へ転業する 9. その他()	2. 産学連携に力を入れる 4. 事業を多角化する 6. 事業を縮小 8. 廃業する 10. わからない
--	--

問30 四條畷市の産業振興のために、**短期的視点(今後1～3年程度)**で行政に求める支援策はどのようなことがありますか。(主なもの5つ以内に○)

1. 制度融資の充実 3. 従業員確保のための支援 5. 外国人人材活用のための支援 7. 経営相談・指導 9. ICT・DX 利活用の支援 11. 海外進出の支援 13. 行政との情報交換の仕組みづくり 15. 空き物件に関する情報提供 17. 設備の更新・導入 19. 地域社会や地元への貢献事業 21. 脱炭素に向けた取り組み 23. 事業計画策定のための支援	2. 補助金、助成金などの情報提供 4. 後継者・人材育成のための支援 6. 副業・兼業人材活用のための支援 8. 開発力や技術力強化の支援 10. 国内販路拡大の支援 12. 異業種・同業種の交流・連携支援 14. 市内移転に対する税金の減免措置 16. 行政の施策に関する情報提供 18. 大学や研究機関との連携 20. SDGs への取組 22. 第二創業支援や新事業展開に向けた支援 24. その他()
--	---

問31 四條畷市の産業振興のために、**長期的視点(今後10年程度)**で行政に求める支援策はどのようなことがありますか。(主なもの5つ以内に○)

1. 制度融資の充実	2. 補助金、助成金などの情報提供
3. 従業員確保のための支援	4. 後継者・人材育成のための支援
5. 外国人人材活用のための支援	6. 副業・兼業人材活用のための支援
7. 経営相談・指導	8. 開発力や技術力強化の支援
9. ICT・DX 利活用の支援	10. 国内販路拡大の支援
11. 海外進出の支援	12. 異業種・同業種の交流・連携支援
13. 行政との情報交換の仕組みづくり	14. 市内移転に対する税金の減免措置
15. 空き物件に関する情報提供	16. 行政の施策に関する情報提供
17. 設備の更新・導入	18. 大学や研究機関との連携
19. 地域社会や地元への貢献事業	20. SDGs への取組
21. 脱炭素に向けた取り組み	22. 第二創業支援や新事業展開に向けた支援
23. 事業計画策定のための支援	24. その他()

問32 四條畷市の施策情報をどのように取得していますか。(主なもの3つ以内に○)

1. 市の広報誌	2. 市のホームページ・SNS
3. 知人や取引先	4. 金融機関
5. 補助金ポータルサイト	6. チラシ・ポスター
7. 四條畷市商工会	8. 府のメールマガジン
9. その他()	10. 特になし

問33 四條畷市の産業振興のために、ご提案やご意見がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒 **(切手不要)** に入れ、**10月30日(金)**までに郵便ポストに投函してください。